

YOSHIDA

{ 創業100年のYOSHIDAで過ごす オーデマ ピゲとの至福の時間 }

Photographs by Masahiro OKAMURA(Crossover)
Text by Tsuneyuki TOKANO



時計愛好家たちの間で「高級時計の殿堂」として親しまれている東京・渋谷区幡ヶ谷の老舗時計店『YOSHIDA』は、今年創業100周年を迎え、さらなる躍進を続けている。

時計・宝飾の一流ブランドを取り扱う同店は、特別なサロンを併設。そのひとつである「オーデマピゲサロン」は、『YOSHIDA』のブランド力を示す特別な空間だ。

オーデマピゲの全世界共通のコンセプトによるインテリアは、ブランドの発祥地であるスイス・ジュウ渓谷にある小さな村、ル・ブラッシュの情景からインスピレーションを得て生まれたものだ。現地から取り寄せた建材の数々は、室内に独特の温かみを与えている。

続いて、モノグラムを象った仕器が印象的なサロンの入口に注目したい。棚には、オーデマピゲの時計が並び、気になるモデルがあれば、サロンに運んでじっくりと手に取ることができる。気になる商品のラインナップについても触れていこう。オーデマピゲと聞いて誰もが思い浮かべる定番「ロイヤルオーク」は、ブランドの歴史、あるいは魅力を知るうえで欠かせないモデルであるが、オーデマピゲの世界観はそこだけにとどまらない。究極の複雑機構を搭載しながらも、普段使いに申し分ないハイコンプレキシオンや、今年から『YOSHIDA』で取り扱いはじまったオーデマピゲ待望のニューコレクション「CODE 11・59 バイオオーデマピゲ」などの話題作が充実している。

伝統と革新の精神が宿る、100年企業同士が紡ぐ至高のサロン。自分だけの一本と出合う貴重な体験は、人生の1ページに刻まれる、至福の時間となるに違いない。

写真・岡村昌宏 文・戸叶庸之

右：2020年新作「ロイヤル オーク コンセプト トゥールビヨン クロノグラフ オープンワーク」。限定本数25本、自動巻き、チタンケース、ケース径44mm、10気圧防水、39,050,000円。中：高い防水性を備えた複雑機構。「ロイヤル オーク オフショア トゥールビヨン クロノグラフ」。限定本数20本、手巻き、ブラックセラミックケース、ケース径44mm、10気圧防水、29,050,000円。左：新定番候補の「CODE 11.59 バイ オーデマ ピゲ クロノグラフ」。自動巻き、18KPGケース、ケース径41mm、3気圧防水、4,450,000円。*すべて税抜き。



Information

YOSHIDA 東京本店

住所：東京都渋谷区幡ヶ谷2-13-5
電話：03-3377-5401
営業時間：10:00～20:00
年中無休（1月1日～3日を除く）
watch-yoshida.co.jp